

江戸時代の第8代横綱として知られる不知火諾右衛門(だくえもん)の出身地、宇土市栗崎町。この地に残るその墓所一帯を守り続ける活動が、10年を超える長きにわたって地域住民の皆さんの手で行われていることをご存知でしょうか？

かつて、木々が鬱蒼と生い茂り、人々が足を踏み入れることも少なかったこの場所は、今では市が誇る観光スポットとして生まれ変わっています。そして、その背景には、地元の人々が手を取り合って進めてきた熱心な保全活動がありました。

この活動が始まったのは11年前の2014年です。市指定史跡である墓所一帯の保全を目的に、地元の方々が、県や市の補助金を活用して整備に乗り出したのがきっかけです。その後、2020年には定期的な活動を継続的なものとするための保存会が結成されました。

植栽されたツツジやサクラ、見事に整った竹林、市内を一望する高台に置かれたベンチ。墓所を守る活動は、単なる史跡の保全ではありません。地域住民が自らの手で守り育ててきたこの景観は、歴史と文化、そして地域の誇りを未来へつなぐ取り組みそのものです。

また、偉大な横綱を輩出した宇土の地には、現在も相撲文化が息づいています。相撲大会で度々上位の成績を収める市内の小中学校の児童生徒。角界で活躍する市出身の現役力士たち。彼らの活躍がそのことを物語っています。この1月に十両昇進を決めた草野閑(草野直哉さん、令和5年度学生横綱)、初土俵は2024年5月場所が、新十両として挑む大相撲3月場所(初日は9日(日))にも注目です。



市内を一望できる高台に置かれたベンチ



整備された墓所一帯。墓石は階段を上った先。

さて、4月下旬から5月にかけて、墓所一体に植えられた約400本のツツジが見頃を迎えます。ぜひこの地を訪ね、保存会の皆さんが心を込めて整備されている景観を楽しんでいただき、相撲文化の息吹を感じてみてはいかがでしょうか？

げん き 元樹だより

市長からのメッセージ

元松 茂樹



市長の部屋

こちらからもご覧いただけます



香典返し

市社協に次の方々から寄附がありました。厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

▽城塚町	沼田幸浩	亡母	ツヤ子	(九三)
▽松山町	伊藤和子	亡夫	正月	(八八)
▽入地町	光井ナツヨ	亡夫	正之	(八一)
▽住吉町	上野政喜	亡妻	誠子	(六六)
▽古城町	橋口房子	亡夫	克己	(八九)
▽南段原町	松尾マツミ	亡夫	一久	(七九)
▽住吉町	奥村孝子	亡夫	辰美	(九一)
▽野鶴町	本田一子	亡夫	護	(八八)
▽松山町	安田ジュン子	亡夫	一三	(八八)
▽松山町	林 康男	亡妻	祝子	(八三)
▽熊本市北区	上山 斉	亡兄	司	(六八)
▽住吉町	本田恵美子	亡夫	辰起	(八〇)
▽古保里町	藤吉真悟	亡妻	みち	(四一)
▽岩古曾町	満潮健一	亡妻	シオル	(八〇)
▽古城町	山瀬直子	亡夫	茂運	(八九)
▽網引町	松本ちか子	亡夫	清治	(八〇)
▽野鶴町	竹下嘉子	亡夫	功	(九〇)
▽境目町	端羽郁子	亡夫	正邦	(七五)
▽網津町	八百勝矢	亡夫	悟	(九三)
▽入地町	黒川 栄	亡夫	信孝	(六八)
▽野鶴町	中山チヨ子	亡夫	輝光	(九四)
▽住吉町	益田照幸	亡母	シズエ	(九四)
▽新開町	西村朋記	亡母	辰子	(七二)
▽住吉町	益田繁輝	亡母	ヤス子	(九五)
▽花園町	白石節子	亡夫	捷憲	(八七)
▽松山町	草野哲雄	亡母	久子	(九八)

社協へのご寄附は、確定申告などで、所得税法と地方税法の「寄附金控除」ができます。(※2月10日受付分までを掲載)

編集後記

熊本県広報コンクールの結果が発表されました。実は、広報の主担当ではなかったときに、私が表紙写真として撮影した一枚があったので他のものと合わせてエントリーしました。でも残念ながら何にも引っかけられません。た・た・た。ただ、写真について講評をいただきました。カメラ素人の私では考えつかないようなプロの視点を聞けてとても参考になりました。広報紙を担当するようになって思いますが、毎号クオリティの高い広報紙を仕上げている他市の担当者を尊敬するようになりまし